

# 関西石川県人会連合会 県人会だより

2020 年度

新春号

- 会長年頭のご挨拶
- 県人会だより
- 知事年頭の挨拶
- 関西だより
- 県内だより
- 市町だより ほか



関西石川県人会連合会  
会長 井上 作雄  
(平成29年6月就任)



令和2年10月に金沢市内に移転オープンした国立工芸館  
(写真提供：金沢市)



令和2年7月に金沢城に復元された  
鼠多門(ねずみたもん)、鼠多門橋(ねずみたもんばし)  
(写真提供：金沢市)

# 年頭のご挨拶

関西石川県人会連合会

会長 井上 作雄



新年あけましておめでとうございます。ご

関西石川県人会連合会の皆様方にお元気で新年をお迎えのことと心からお

慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスという見えざる「敵」と世界中が戦った一年でした。四月、五月と全国に緊急事態宣言が発出され、人波が街中から姿を消した寂寥感漂う風景は、今でも目に焼き付いております。そして今もって世界中で感染者が増え続けており、その戦いにまだ終わりは見えません。

また、昨年はコロナの影響による東京オリンピック・パラリンピックの延期、安倍内閣の退陣、大阪都構想の頓挫などまさに激動の一年でした。

一方、コロナ禍は、ソーシャルディスタンス、リモートワークをはじめ新たな生活様式を生み出しました。会員の皆様方も模索しながらその様式を取り入れていったのではないでしょ

うか。今は大変な時期です。しかし、会員の皆様方の英知を結集し、この難局を乗り越え、ポストコロナの輝く未来を創造して、次世代へ繋げようではありませんか。

我々の身近な話題に目を向けますと、北陸新幹線の早期全線開業の問題があります。令和五年春の敦賀開業は、将来的な大阪延伸に向けての極めて重要なトピックでありました。しかし工事の遅れ等から、開業時期が一年程度延期となることです。残念でありませんが、敦賀開業の遅れにより、大阪開業が遅れることは絶対にあってはなりません。

また本年秋には、五年に一度の全国石川県人会連合会が輪島市内で開催を予定しております。輪島では平成八年以来の開催となります。コロナとの戦いに打ち克ち、一人でも多くの会員の皆様の参加により、全国の仲間たちから元気をもらおうとともに、「関西石川県人会連合会、ここに在り」と存在感を発揮しようではありませんか。

今後とも会員相互の結びつきを強め、ふるさと石川の応援団として地元石川の発展に寄与してまいりたいと存じます。

会員の皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 県人会だより

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて各県人会の総会等が軒並み中止となっております。そのため、いくつかの県人会の取り組みや近況についてご寄稿いただきました。

## ○能登互助会

総会・旅行等々が全て活動事業中止となりながらも、令和二年度役員改選により山本三郎会長が選任され令和三年早々に新年会・総会・旅行等々開催をコロナ対策ルールに従い慎重に検討し会運営の親睦を図っていきま

す。また、令和二年十月十八日松島信雄様が九十三年の生涯に幕を下ろされ



ました。土官学校・早稲田大学を経て数々の役職をこなした 関西石川県人会連合会では、会長・相談役にと歴任された功績は誰もが知る、あつたかたで親しみやすい人柄でした。

そこで携わりの深い三部会でご会を、早春に開催を企画して故人を偲ぶ予定をしています。

(能登互助会副会長 谷内田 栄次)

## ○加賀浴友会

加賀浴友会は、戦後の混乱の続く中で、昭和二十四年一月十八日に多くの関係各界の方々のご指導のもと、先輩諸兄のご尽力により設立されました。現在は七つの地元地域の会で組織さ

れ、総会員数は八十一名ですが、残念ながら、いずれの会も高齢化により会員数は年々減少しています。しかしながら、総会懇親会や新年会の開催のほか、連合会総会へ積極的に参加するなど活発に活動しており、総会懇親会はふるさと石川への熱い思いから、毎年旅行を兼ねて地元の加賀温泉で開催しています。今年度はコロナの下でもあり、開催の方法や有無について会の皆さんと何度も協議した結果、恒例の加賀温泉での開催を中止し、全国的にコロナの感染状況が比較的落ち着いた頃合いを見て、昨年九月二十八日に島根県玉造温泉「佳翠苑 皆美」にて開催しました。私から「コロナに負けるな！」の趣旨の挨拶に続き、西野榮二御幸懇親会長の発生で乾杯、細川璋夫相談役の音頭により万歳三唱し、お

開きとなりました。感染対策を徹底し、足立美術館、出雲大社、松江堀川めぐりの旅も楽しんでまいりました。一日も早くコロナが終息し、また、連合会の皆さんと交流ができることをお祈りしています。

(加賀浴友会会長 中松 勝彦)



### ○東大阪石川県人会

東大阪石川県人会の今昔  
新年明けましておめでとうござい  
ます。

昨年は年明け早々からコロナ報道で始まり一向に収まる気配もなく令和三年を迎えました。各種イベント等ははじめ事業活動もままならず自粛を余儀なくされたまま、東大阪県人会も休眠状態です。一刻も早くワクチンが日本にももたらされるよう祈るしかないでしょうか。

四十年前にも東大阪県人会があり活動していた頃があり、私も昭和五十八年頃入会しました。当時の会長は(株)デサントの石本会長でした。当時のメンバーは大阪市の東成区、生野区、

城東区、そして東大阪市に本社を構えておられる社長さんたちでした。

故郷の一つにしたメンバー同士、何事も互いに助け合い切磋琢磨し協力し合っておられました。当時のメンバーは豪快な方が多く、遊びも含め身になることも多くありました。あらためて当時のメンバーの顔が臉に浮かびます。しかし石本会長が引退されてから、県人会の会合も無くなり自然消滅の状態になりました。

それから三十五年経過して県人会のお話しが井上さん(現会長)から出て来ました。そして、平成二十三年に東大阪県人会が結成され、今日に至り十年を迎えます。今も井上会長の情熱は冷めることもなく我々を引っ張って頂いております。三十五年間の空白を避けるためにも役員一同頑張ってきてみたいと心しております。

(東大阪石川県人会事務局長 橋屋 孝一)

### ○北大阪石川県人会

北大阪県人会の近況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、第五回総会・懇親会(令和二年七月二十五日)を延期し令和三年七月十日に開催する運びとなりました。

さて、北大阪石川県人会の任期は、一期二年で再任を妨げない事になっていましたが、元田会長にご無理をお願いし二期四年の期間在職して頂きました。

次期会長を兵庫副会長に、元田会長を顧問に就任して頂くことを理事会で満場一致の承認を得ていますが、会

長の交代時期が延期になり、第五回総会で、兵庫副会長を会長に推薦し総会で承認を得る予定にしています。

北大阪石川県人会第一回総会の出席者は、一二〇名です。第四回総会で連絡の取れる会員数は現在二三〇名で、出席者は六十名でした。

総会の回数を重ねる毎に連絡の取れる会員は減少し、物故者・連絡不要者等が増加するため、総会での出席者も減少しています。

理事会としては、新たな会員を増やす方策を模索していますが、改善策はなく理事一同の頭の中は、この先総会の開催が危ぶまれているのが現状です。

第五回北大阪県人会総会等の令和三年の予定は左記の通りです。  
第一回理事会…一月三十日(土)



第二回理事会…三月二十七日(土)  
最終理事会…六月二十六日(土)  
総会…七月十日(土)

新大阪ワシントンプラザ  
尚、右記の予定で開催を計画していますが、コロナの感染状況が拡大傾向にあるため、第五回総会・懇親会の開催が不透明です。

(北大阪石川県人会副会長 上田 敷義)

### ○関西珠洲会

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、今年度の総会はもちろん目玉であった高卒者の五月関西来県歓迎会、九月奥能登国際芸術祭参観の故里帰り旅行等すべてが中止となり、人の集り・繋がりや土台とする本会にとつては誠に辛い年度となりました。

役員会ではコロナに負けずこのコロナ禍でも出来るものをと議論・模索し、物流や宅配を活用しての会員の皆様に「故郷を意識・実感」、「見える化」を図る取組を行いました。

一回目はお盆前に、故郷の「道の駅」とタイアップして「ふるさと物産紹介キャンペーン」を行い、「帰省やお墓参りで買った筈のお土産購入」をすすめたこと。

二回目は十二月中に、会員に「ふるさと絶景海道カレンダー」又は「ふるさと祭カレンダー」を配付しました。

故郷の珠洲市や能登町はコロナ感染ゼロ地域ですが、市長や町長さんの温かいお言葉を受け、一月末に「ふるさと旨いもん旅行」を予定しています。

また、こんな機会だからこそと課題であった事業年度の変更や役員体制の整備など組織の見直しと点検を行い、コロナ収束時に向けての準備を行っています。

大阪での役員会（十月）の後は、飲食店経営の会員宅（店）を訪ねて、「新しい生活」スタイルを取りながら応援と関係づくりに励んでいます。

（関西珠洲会顧問 坂本 成昭）



### ○京都石川県人会

京都石川県人会令和二年の活動は、たけびしスタジアム京都で県人会が、エールを送った、二十四位躍進の全国女子駅伝と一月二十五日七十名余の参加で盛大に開催された新年会で始

まりました。とりわけ新年会には、関西石川県人会連合会から幹部の皆様にご参加いただき、京都石川県人会との連携が一層深まる新年会となりました。そして、女子駅伝に続き、郷土の若い力に期待し、大相撲大阪場所、選抜高校野球での活躍を心待ちにしています。

ところが、コロナ感染の拡がり、観戦の断念や定期総会をも中止せざるを得ませんでした。県人会の活動の基本は親睦を中心とした、いわゆるふるさとの「密」を求める活動である事を考えると一刻も早い収束を願うばかりです。とともに、コロナ禍の下での県人会活動の模索が求められました。そんな中、嬉しいことに、県人会サークル活動の一環として、ゴルフ同好会を立ち上げ、四月八日第一回京都



### ○関西能美市の会

「故郷は遠きにありて思うもの」

故郷の詩人（室生犀星）

石川県人会ゴルフコンペを開催、天候に恵まれて、楽しい一日となり、同好会の出発を飾る日となりました。同好会会長に川本八郎名誉顧問が就任し、十一月二十六日には二回目のコンペが行われました。今後は関西連合規模でのコンペ開催に尽力する方向です。十二月十三日には役員会を開催、令和三年新年会の開催を断念するとともに、コロナ禍での県人会活動について意見交換を行い、会員を基礎にした同好会（釣り、旅・・・）つくりなど、活発な討議を行い、令和三年活動への展望を切り開く討論を行いました。

（京都石川県人会幹事長 浦 慶二）

能美市の歴史を紐解けば、その昔手取川以西、江沼郡・小松・能美郡にさかのぼります。

その昔越前朝倉氏・柴田勝家の支配下にあり、国府が置かれていた地？と聞き及びます。

朝夕仰ぎ見る白山、手取川の清流が育む農業・電子産業・諸工業と、源平手取川合戦・根上山・義経伝説・和田山古墳群など多くの観光資源にも恵まれています。

この故郷を誇りとする有志が発起人となり、関西能美市の会が、井出市長や関係各位のご協力のもと発足して三年経過しました。

毎年五月の総会は、市の議会関係者

や職員の方々のご臨席を得て故郷談義や故郷の状況報告など「ワイワイガヤガヤ：だちゃかん！テンポなもんや！」、と、「大根寿司」食べる会も折からのコロナ騒ぎで延期となり、関東・中部の能美市の会の皆さんと故郷訪問団を企画していましたが、これまた先送りの止む無きに至りました。

毎行われます井出市長様の現状報告では、「能美市は世界をリードする先端大学や公立高校や教育機関がおられる全国でも数少ない人口増加都市」とのこと、ご同慶の至りであり

私たち故郷を離れ各地区の能美市の会々員はそれぞれの事情で家督を長男に譲った次男・三男坊主や嫁いだ女性たちです。

東京オリンピック組織委員長・森元総理や大リーグ MVP 松井選手を輩出した能美市に強烈な愛着と郷愁・誇りを感じています。

地元能美市で生活する方々が、繊維産業衰退等・産業構造や社会変化を乗り越えて、立派な地域社会を創造されていることに敬服しています。

「人の暮らしと産業が調和する能美市」私たち自身のふるさと「能美市」への応援を続けてまいります。併せて北陸新幹線の大阪直結推進運動（小松く大阪一時間）を県人会組織と共に活動しております。

\*最後に関西在住の能美市出身者の方々をご紹介いただければ幸甚です。

（関西能美市の会会長 西居 厚）

## 知事年頭の挨拶



明けましておめでとうございます。  
二〇二一年の

新春を迎え、県人会の皆様には、謹んでお慶び申し上げます。また、平素からふるさと石川に格別のご支援を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、東京オリンピック・パラリンピックが1年延期となるなど、影響が多方面に及びました。こうした中にも、これまで整備を進めてきた、金沢港の新たな賑わいの拠点となる金沢港クルーズターミナルをはじめ、金沢城公園鼠多門・鼠多門橋や国立工芸館が予定どおり完成し、本県に新たな魅力が加わりました。

今年、開催が予定されている東京オリンピック・パラリンピックや、北陸新幹線の県内全線開業も見据え、これらの施設を最大限活用し、本県の魅力に一層磨きをかけ、交流人口の拡大に取り組むとともに、引き続き、一日も早い大阪までの全線整備に向けて、沿線地域とともに取り組んでまいります。

そして、新型コロナウイルスの感染拡大によって、場所にとられない働き方や暮らし方が広まり、これまで以上に地方への移住に関心が高まっています。「感染拡大の防止」と「社会経済活動の正常化」の両立を一層図っていくことはもとより、本県への移住・定住や学生のUIターン就職の促進、子育て環境の充実についても幅広い観点から必要な施策を講じ、本県の活力向上を図ってまいります。

県人会の皆様には、ふるさと石川にお越しいただいた際には、是非、地元の魅力を再発見していただき、それを発信することで、ふるさとを盛り上げていただきたいと思います。

今後とも石川の応援団として一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後に、県人会の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、県人会の益々のご発展を心より祈念申し上げます。



## 関西石川県人会連合会 ゴルフコンペを開催

第三回関西石川県人会連合会ゴルフコンペは昨年九月十八日、兵庫県の田辺カントリー倶楽部で七組二十五名が参加して盛大に行われました。コンペ後、倶楽部のロビーで上田数義実行委員長（北大阪石川県人会）から優勝者にカップが贈られました。

今回は、新型コロナウイルスの関係で三密を避ける関係上、会食なしで終了しましたが、コンペでの最大の目的は、会員相互の親睦をはかることが最も大切だと感じました。

第四回連合会ゴルフコンペは、令和三年九月十七日（金）滋賀県の瀬田カントリー北コースで開催することを



決定して閉会しました。

○成績

- 優勝 藤森 勝己様  
（関西羽咋会）
- 準優勝 西居 厚様  
（南大阪石川県人会）
- 三位 井尻 潔様  
（関西小松会）

## 全国石川県人会連合会 輪島市で十月開催

第十六回全国石川県人会連合会が今年十月三日（日）輪島市内で開催する運びとなりました。

詳細が決まり次第、改めてお知らせします。

## おくやみ

- 西田 實氏（第五代会長 相談役）  
令和二年六月十三日逝去
- 松島 信雄氏（第六代会長 相談役）  
令和二年十月十八日逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。

## 関西だより

### 甲子園交流試合開催

昨年八月、令和二年の第九十二回選抜高等学校野球大会（春のセンバツ）、第百二回全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園）が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、中止になったことを受けて、春のセンバツ出場予定校による甲子園交流試合が開催されました。

石川県からは、星稜高校と日本航空石川の二校が出場しました。星稜高校の対戦相手は、一昨年春のセンバツ一回戦で勝利したものの、夏の甲子園決勝で敗れた大阪の履正社との因縁の対決となりました。毎年恒例の応援は叶いませんでしたが、本県の二校とも最後まで石川の粘り強さを見せてくれました。

### ○結果

八月十五日  
星稜 一対十 履正社（大阪）

八月十六日  
日本航空石川 三対五 鶴岡東  
（山形）



## 高校ラグビー、無観客で開催

昨年末から新春にかけて行われていた第百回全国高校ラグビー大会でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、無観客での開催となりました。

石川県からは昨年に続き日本航空石川が出場となりました。



## 全国女子駅伝 中止

毎年一月、京都市内で行われる全国都道府県対抗女子駅伝は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となりました。昨年は、県最高記録を更新し、躍進を果たした石川県勢にとっては、残念な決定となりました。



## 県内だより

### 金沢の新名所

### ○鼠多門 鼠多門橋復元

#### 国立工芸館オープン

昨年七月、金沢城において、明治期以来約四十年ぶりに「鼠多門（ねずみたもん）、鼠多門橋（ねずみたもんばし）」が復元されました。壁塗りの様式の一つである海鼠（なまこ）壁が、白地ではなく、黒地で漆喰されていることが独自の特徴になっています。埋蔵文化財調査や絵図・文献調査の結果に基づき、史実に沿った復元が行われました。※

また、昨年十月には、金沢に国立工芸館がオープンしました。この工芸館は日本で唯一の国立で工芸を専門とする美術館です。陶磁や漆工、染織、金工など東京国立近代美術館工芸館が所蔵する約三千八百点のうち、約一九百点が金沢に移転しました。

両施設は、石川の文化的素養を一層高めるものとなりました。

※参考文献：金沢城公園IP



### ○金沢港クルーズターミナル

#### オープン

昨年六月、金沢港の新たな海の玄関口として金沢港クルーズターミナルがオープンしました。ターミナルの海側は、全面ガラス張りです。日本海を一望でき、夜はライトアップで一層映えます。

館内では、入口で伝統工芸のモニターが迎え、金沢港のまなび体験等でクルーズ船を操縦するシミュレータを体験できるほか、レストランで日本海の新鮮な魚介類を楽しむことができます。



（写真提供：石川県）

# 市町だより

## ○小松市

令和三年十一月十三日(土)・十四日(日)に日本遺産サミット in 小松の開催を予定しています。日本全国で歴史や文化、伝統を語る一〇四のストーリーが「日本遺産」に認定され、小松市には「石の文化」と「北前船寄港地安宅」の二つがあります。両日は、全国各地の日本遺産が大集合し、日本の素晴らしい歴史物語を体感できる二日間となりますので、ぜひ皆様で超越してください。

## ○珠洲市

今年九月四日(土)〜十月二十四日(日)にかけて、第二回目となる「奥能登国際芸術祭2020+」を開催します。

十六の国と地域から四十七組のアーティストが参加し、市内のそれぞれの地域の歴史や特徴、魅力、豊かさを活かした作品を市内全域に展開します。さいはての芸術祭、美術の最先端を、ぜひお楽しみください



## ○加賀市

市区の中で最も高い申請率となっているマイナンバーカードを活用し、行政手続きの電子申請を開始しました。二〇二一年(令和三年)三月までに五十の手続きを順次オンライン化します。

新型コロナウイルス感染症に対応するため、加賀市医療センターでは、安全な紫外線でウイルスを不活化する装置を全国で初めて設置しました。

## ○羽咋市

無料のオンライン移住相談を平日十時から十六時まで行っています。(土日・祝日は応相談)

希望される方は、氏名・住所・電話番号・相談内容・希望日時を、希望日の一週間前までにご連絡ください。市総務部がらばる羽咋創生推進室

☎〇七六七―二二七一九二  
✉ iju@city.hakui.lg.jp

## ○かほく市

本市の「美味しい」が味わえるイベント「冬の味くらべ」あったか雑炊・鍋まつり」は、本市出身の冒険飛行家・東善作がアメリカで経営していたチャプスイ(雑炊)店に端を発し、市内の飲食店で自慢の雑炊や鍋料理の食べくらべをする冬の恒例イベントです。今年は一月十六日から二月十四日の日程で開催予定です。詳しくは市

## 産業振興課

〇七六一二八三―七一九〇五

## ○白山市

白山手取川ジオパークがユネスコ世界ジオパーク国内候補に決定。二〇二二年(令和四年)四月以降の世界認定を目指します。また、美川・湊地区の構成文化財が日本遺産「北前船・船主集落」として追加認定。今後も本市の自然と文化を発信していきます。魅力いっぱいふるさと白山市の観光大使を募集しています。詳しくは市観光課

〇七六一二七四―九五五四

## ○能美市

「能美ふるさとミュージアム」が和田山のおもとに開館しました。国指定史跡能美古墳群から出土した豊富な資料を展示するなど、自然や歴史、民俗を総合的に学べる博物館です。

市内で製造・販売されている優れた商品五十六点を「のみブランド」として認証しました。今後、専用ホームページを作成するほか、販売促進のキャンペーンも実施する予定です。

## ○野々市市

新型コロナウイルス対策に追われる医療・介護従事者へ感謝の気持ちの表現などを目的に、『ののいちGEN K Iイルミーションプロジェクト』を

令和三年二月末まで実施。「にぎわいの里のいち カミーン」外部をLEDライトで華やかに飾ります。

「野々市ブランド認定品」ほか特産品の返礼を伴うふるさと納税を令和二年九月より開始。詳しくは、市HPに掲載。

## ○津幡町

津幡町役場の新庁舎が一月四日に開庁しました。十分な耐震性能はもちろん、自然エネルギーを活用するなど環境にも配慮して、すべての人が利用しやすい庁舎となっています。

河合谷宿泊体験交流施設が今年の八月に開業予定です。施設は木造二階建てで、宿泊棟とプレイルーム棟からなります。豊かな里山の自然や四季折々の農作業を体験できます。

## ○志賀町

昨年六月に、江戸時代に北前船の西廻り航路の寄港地として栄えた福浦港などを有する当町が、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に追加認定されました。

構成文化財には、旧福浦灯台や福浦祭り、奉納船絵馬群など七件が盛り込まれており、今後、全国に幅広く発信し、交流人口の拡大に繋がっていきます。



## ○六水町

新型コロナウイルスの影響で毎年恒例の「雪中ジャンボかきまつり」が中止となりました。皆様、ふるさと納税で牡蠣生産業者を応援してください！

町企画課

○七六八―五二―三六二五

お知らせで能登への移住に興味のある方はいませんか？町移住体験住宅は七泊八日まで無料で宿泊できます！オンライン相談随時受付中！

町観光交流課

○七六八―五二―三六七一

## ○能登町

町待望の新施設「イカの駅」のつくモール」が令和二年六月二十日オープン。観光案内所、イカ料理などを提供するレストラン、イカの加工品などの物産販売、イカ漁展示コーナーなどがあります。また、マリネレジャー関連施設も併設し、四月から十一月にはシーカヤックやサップが体験できるほか、観光遊覧船の運航も行っています。

詳しくは、イカの駅つくモール

○七六八―七四―一三九九



## 県事務所だより ほっと石川なにわ館 観光と物産展を開催

昨年十二月一日、ほっと石川なにわ館において、石川県の観光と物産展を開催しました。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、試食や試飲を行わず、石川県産の新品種米「ひやくまん穀」のおにぎり配布を行いました。

当日は、晴天にも恵まれ、用意したおにぎりは全て配布され、販売した「ひやくまん穀」の精米、県産野菜、地酒、物産品、工芸品を、来館者された方たちは、次々と手に取っていかれました。一等景品として「ひやくまん穀」二キロと石川県産の酒米品種「百万石乃白」を使用した地酒を用意した抽選会も盛況でした。



また、入口前では、往来者に、金沢・加賀・能登・白山のパンフレットの配布を行い、観光PRに努めました。今回も県人会の皆様に多数ご来館いただき、大いに盛り上げていただきました。

コロナ禍の中、感染防止対策を取りながらの実施でしたが、多くの皆様に石川の魅力を発信することができました。



## ほっと石川なにわ館をご利用ください

### ～ふるさと石川の「今」をご紹介します～

美しい自然と質の高い伝統文化に育まれた石川の各種物産を展示・販売

- ・ 伝統的工芸品
- ・ 石川の地酒
- ・ 銘菓、各種菓子類 など

ぜひ、県人会の皆さんの交流の場としてください

発行日：令和3年1月  
発行所：関西石川県人会連合会  
〒530-0047  
大阪市北区西天満 4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル2階  
石川県大阪事務所内  
TEL06-6363-3077  
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/osaka/>